**第24章 災害及び事故**

**水稲被害**

　昭和61年における府下の水稲被害の概況は、被害面積8710ha、被害量3620 t 、被害率8.7％で、前年に比べ被害面積で2990ha（25.6％）、被害量で1650 t（31.3％）の減少となった。  
　種類別にみると、気象被害、病害、虫害のいずれも減少したが、特に気象被害は被害面積で91.1％、被害量で86.4％の大幅な減少となっている。

**労働災害**

　昭和61年における府下の労働災害による死傷者数は、死者が134人、負傷者（休業４日以上）が２万2315人、合計２万2449人で、前年より1146人減少した。特に死者は75人減と一転大幅な減少となった。  
　産業別にみると、製造業が8591人で全体の38.3％を占め、そのうち、金属精錬業・金属工業が3817人で最も多く、以下、建設業5022人（構成比22.4％）、陸上貨物取扱業2212人（同9.9%）の順となっている。

**火災**

　昭和61年における府下の火災件数は4727件（前年比1.4％減）、損害額は96億2137万円（同2.4％減）、死傷者は756人（同4.7％減）であった。  
　月別では、１月が503件（構成比10.6％）と最も多く、最も少ない７月の1.6倍となった。  
　地域別では、火災件数全体の33.9％を占める大阪市地域が前年より166件（9.4％）減少の1604件となったほか、豊能地域、泉北地域、泉南地域で減少し、府下の火災件数の減少に寄与した。  
　発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年より40件（2.4％）減少し1644件となり、全体の34.8％を占め依然最も多く、「都市・プロパンガス関係」が48件（4.8％）増加の994件で続いている。  
　昭和61年度における府下の火災の防火対象物は、9754棟（前年比5.3％）増加の19万4739棟となり、増加傾向が続いている。

**交通事故**

　昭和61年における府下の交通事故発生件数は、４万8940件（前年比3.6％増）で、死者は461人（同17.9％増）、負傷者は６万249人（同4.5％増）となっており、特に、死者は減少傾向から一転して大幅な増加となった。  
　事故発生の主原因者となった第一当事者では、車両関係が４万7986件で、これを車種別にみると、普通乗用車の２万1983件（構成比45.8％）と普通貨物自動車の6072件（同12.7％）が多く、合わせて全体の約６割を占め、以下軽貨物自動車5763件（同12.0％）、原付二輪車（50cc以下）4392件（同9.2％）の順となっている。  
　又、法令違反別にみると、前方不注意9358件（構成比19.5%）、安全不確認5146件（10.7％）、指定場所一時不停止3269件（同6.8％）、徐行場所違反2917件（同6.1％）の順となっている。  
　一方、歩行者関係の事故は、第一当事者及び第二当事者合わせての発生件数が6809件で、死者105人、負傷者7036人となっており、横断中の事故が4748件と全体の69.7％を占めている。  
　なお、全国の交通事故発生件数は、57万9190件（前年比4.8％増）、死者9317人（同0.6％増）、負傷者71万2330人（同4.5％増）であり、都道府県別でみると、大阪府の４万8940件（構成比8.4％）が最も多く、以下、東京都３万9277件（同6.8％）、神奈川県３万1872件（同5.5％）の順となっている。